



編

集

後

記

現象が見られ、十分に気を付けたいもの
です。

● 今年も青い羽根募金の強調運動期間が
やつてまいりました。昨年の青い羽根募
金は、本会自体の募金額は伸びましたが、
全国合計で少し減少しました。

救助員の皆さんのが活動を支える青い羽根
募金に国民の皆さんの理解と協力を得る
ための努力を引き続きお願いします。

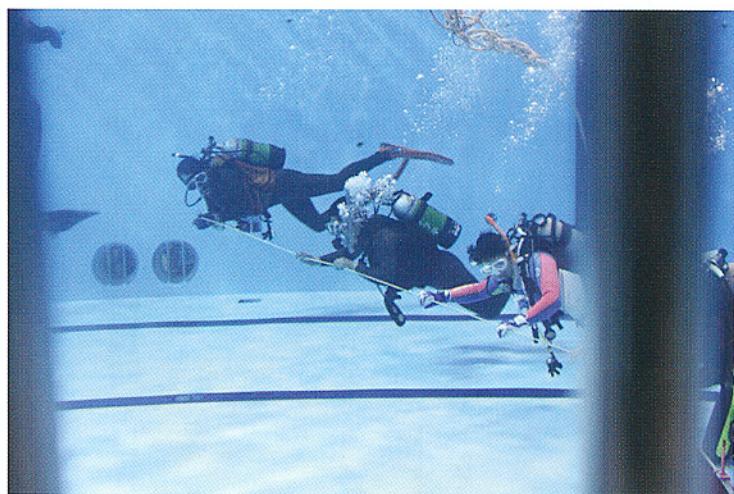
● 前号で投稿して頂いた千葉県水難救済会

房総広域救難所から、またまた投稿記事
を頂きました。スペースの関係もあり本
欄で紹介しますが、是非とも他の地方救
難所などでのトピックスの投稿をお願い
します。

さて、同救難所においては、初めて海
上保安庁潜水士（今や「海猿」の名称で
世間に通用する?とのことです。）との合
同訓練を実施されたようで、横浜の海上
防災基地での訓練は、平行捜索訓練と水
深十メートル地点での絡網者救助訓練、
そして水流が二ノットの中での泳法訓練

最後に、「海猿」から救難所構成員のダイ
バーの技量にお褒めの言葉があつたよう
ですが、さすがに二ノット体験では、参加者
全員が体力の衰えを痛感されたとあります
た。

救難所としても特異な存在であり、今後
の頑張りにエールを送りたいと思います。
日本の気候が過去の傾向で判断できない
日付



海猿との合同訓練（房総広域救難所）

（常務理事 磨）